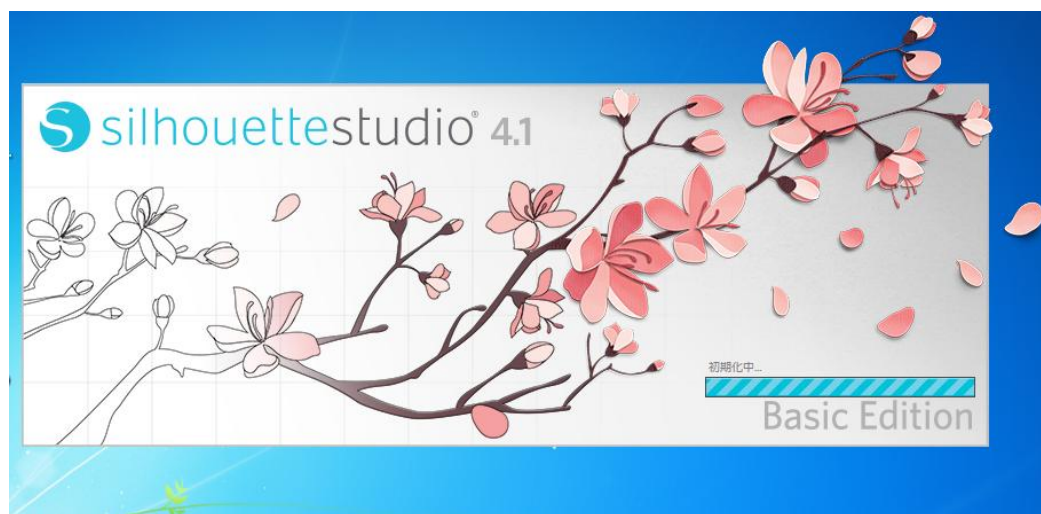


Silhouette Studio V4 導入操作説明書

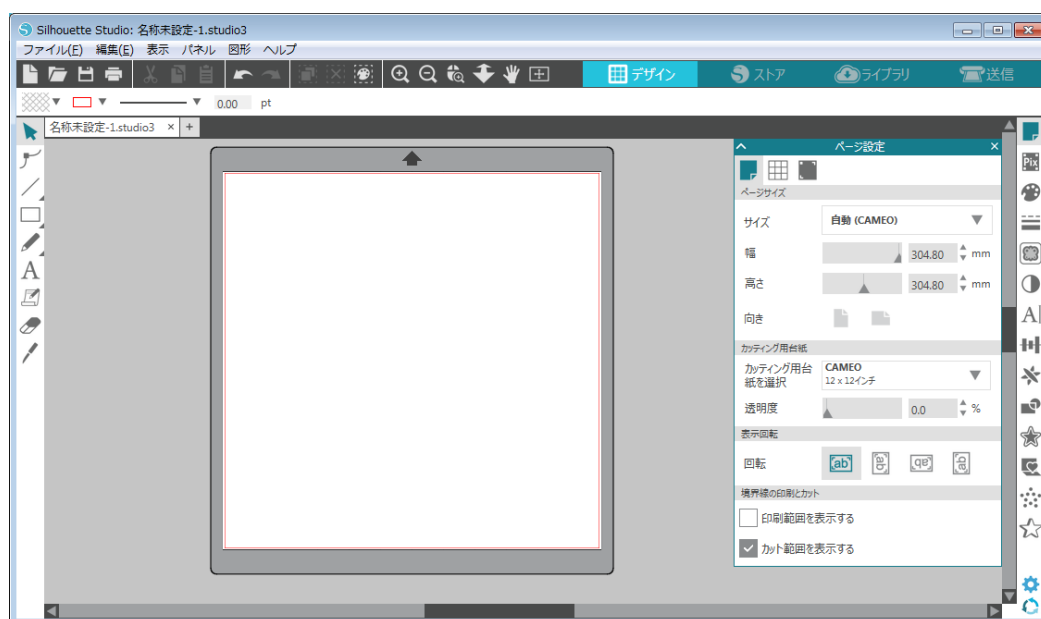
Silhouette Studio (シルエット スタジオ) から silhouette CAMEO3 に出力する方法について以下に説明します。なお Silhouette Studio のインストールおよび silhouette CAMEO3 との接続については別途資料を参照してください。(以降は Windows での表示例になります)




1. カuttingフィルムに文字切りを行いたい

①Silhouette Studio を立ち上げます。




②「ページ設定」画面が開きます。「ページ設定」画面が開いていない場合は、**デザイン** タブをクリックします。



- ③ 「ページ設定」画面より、“ (ページサイズ)”を選択し、「サイズ」に“A4”、「向き」を“ (縦)」、「カッティング用台紙を選択」に“なし”を、「回転」に“ (なし)”を設定します。





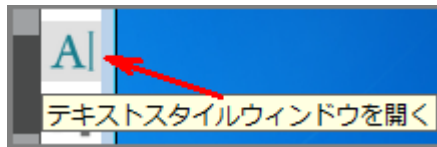
※ワークスペースのサイズ、方向を設定します。ここでは A4 サイズのカッティングフィルムをカッティング用台紙無しで設定する場合の例を説明します。

- ④ 「ページ設定」画面より、“ (オプション)”を選択します。“グリッドを表示する”にチェックし、“正方格子”を選択し、「間隔」を“10.00mm”、「分割数」を“2”に設定します。「色」はグリッドに設定したい色を任意に選択します。




※ “グリッドを表示する” にチェックするとワークスペースに指定した間隔、分割数でグリッドを表示します。

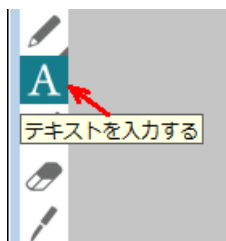
- ⑤右側のツールより「テキストスタイルウィンドウを開く」のアイコン  をクリックして「テキストの書式」を開き、「MS ゴシック」、文字サイズを“72pt”（約 25mm）、（垂直方向）に設定します。



※文字フォントの種類と文字サイズを設定します。


ここでは、「MS ゴシック」を選択し、文字サイズを 25mm に設定する例を説明していますが、“MS ゴシック”が無い場合は任意の文字フォント、サイズを選択してください。

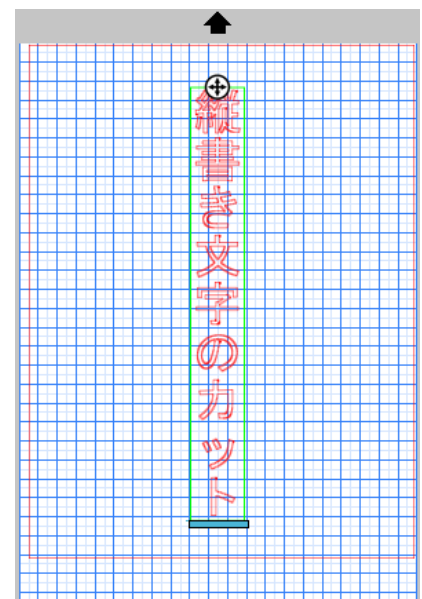
- ⑥左側の描画ツールより「テキストを入力する」のアイコン  をクリックして文字の入力指定を行います。




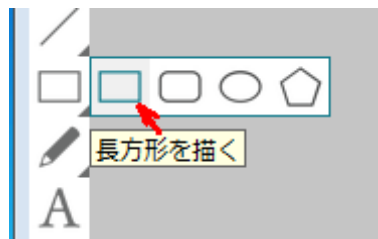
- ⑦ワークスペース内の文字の入力位置をクリックしてカットしたい文字を入力します。

※ここでは、縦書き文字の例を説明しますので日本語の全角文字を任意で入力してください。

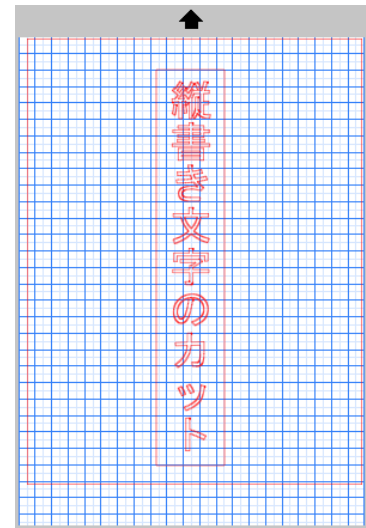
テキストボックスの位置を移動したい場合は  をクリックしてドラッグすることで移動することができます。




- ⑧ 「長方形を描く」のアイコンをクリックして文字の周りに枠切り用の長方形を描きます。



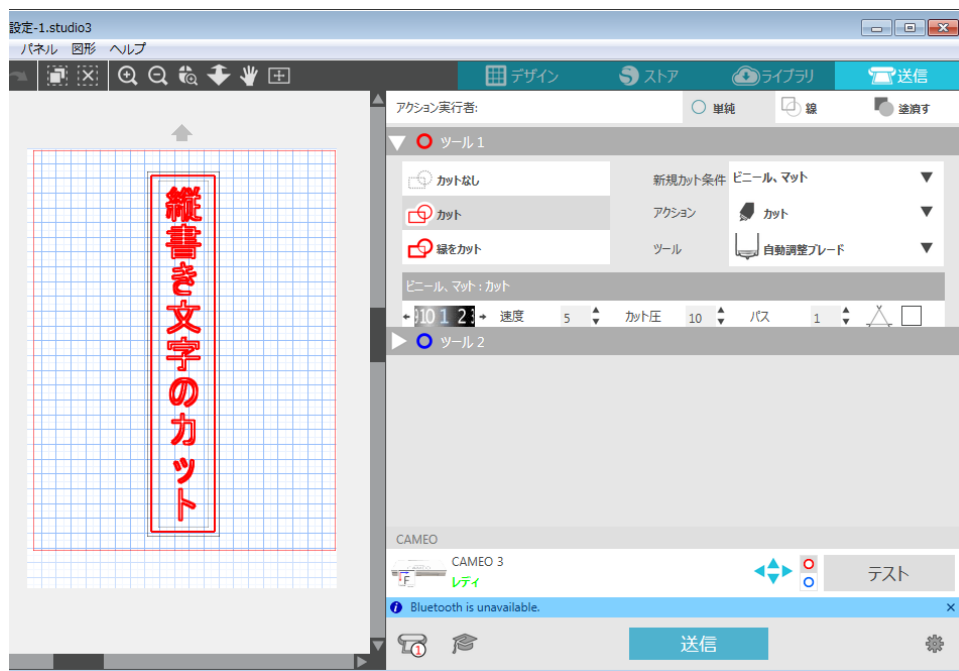
※枠切りを行うと、文字の周りの不要な部分が剥がしやすくなります。




- ⑨  タブをクリックします。



- ⑩文字枠全体をドラッグして選択状態にし、“ 単純”より“ ツール1”の中の“ 線をカット”を選択します。



※ “ 線をカット”を選択すると枠のみカットされ、文字はカットされません。

枠および、文字のそれぞれを単独で選択することでカットする、しないを個別に指定できます。

⑪更に「新規カット条件」に“ビニール、マット”を選択します。

「アクション」は“カット”、「ツール」に“自動調整ブレード”を選択します。




※「ツール」に“自動調整ブレード”が表示されない場合は、CAMEO 3 が認識されていない事が考えられます。接続を確認してください。

“ビニール、マット”を選択すると、初期設定されている“刃出し量”、“速度”、“カット圧”の値が表示されます。メディアの種類によっては刃出し量、速度、カット圧の設定を変更する必要があります。

最初は、“カット圧”の設定を低めに設定してテストカットを行い、最適な数値に合わせてください。“パス”は、厚紙のような1度にカットできない場合に繰り返しカット数を設定します。

また、カッターブレードの刃出し量が初期では1が表示されていますが、テストカットを行い、カット圧を上げてても完全に切れない場合に2に上げてみてください。

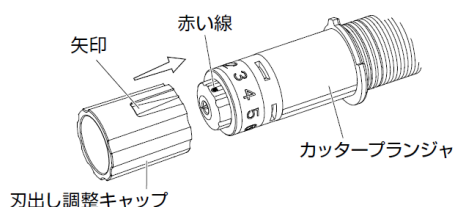
テストカットは、「CAMEO」の中の  のボタンをクリックすることで silhouette CAMEO のカッターセットとメディアの位置を移動することができ、**テスト** をクリックすることで下図のようなテストカットがされます。



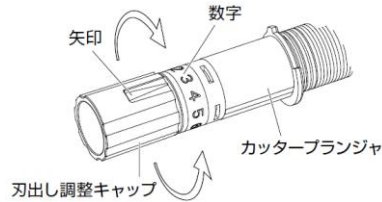
<刃出し量の調整方法 (SILH-BLADE-3J (別売) を使用する場合) >

※silhouette CAMEO 3 に付属のカッタープランジヤは、Silhouette Studio で“自動調整ブレード”を選択すると自動的に刃出し量を調整しますので手動での調整は不要です。

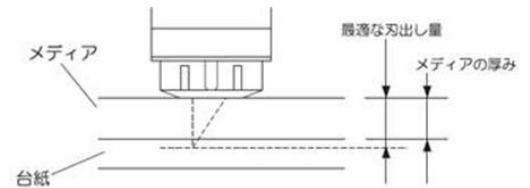
- 刃出し量調整キャップをカッタープランジヤの赤い線に合わせてセットします。



- 刃出し量調整キャップを回して“1”の値に合わせます。
このとき、“0”から反時計回りで“10”方向に回さないでください。また、時計回りに回すとき、“10”を超えて回さないでください。無理に回すとカッタープランジヤが故障し調整不能になります。

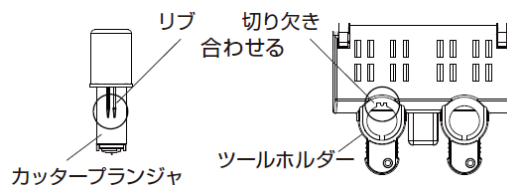
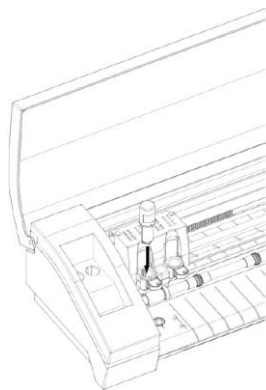
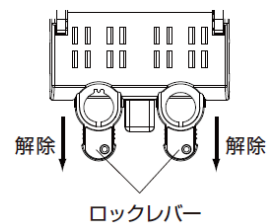


- 右の図は、最適な刃出し量に調整した場合の“メディア”と“台紙”と“カッターの刃先”の状態を表しています。台紙まで切り抜いてしまう場合は、刃出し量の値の他に「厚み」の値を下げて調整します。



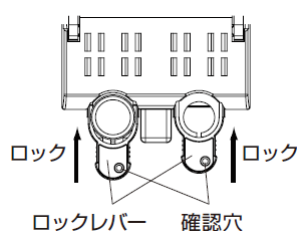
※カッターセットの本体への装着方法

- ツールホルダーのロックレバーを手前にゆっくり引き、ロックを解除します。
- カッタープランジヤをツールホルダーにしっかりと差し込みます。付属のカッタープランジヤを使用する場合は、ツールホルダー1の切り欠きにプランジヤのリブを合わせて差し込みます。



※カッタープランジヤは完全に奥まで差し込んでからロックしてください。奥まで差し込まれていない場合、メディアが正常にカットされません。

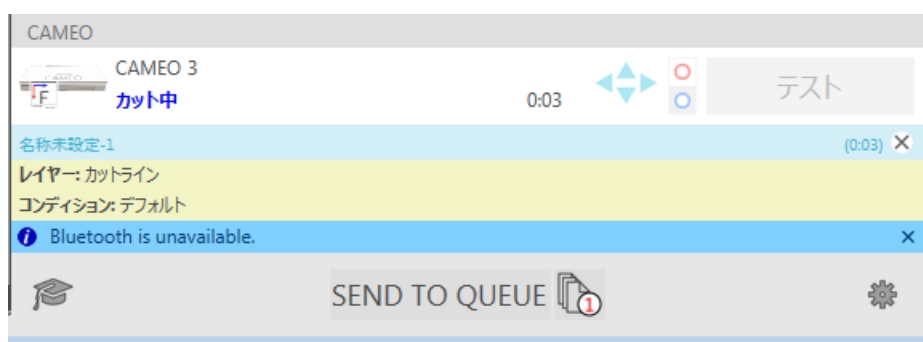
- ロックレバーを戻してロックします。完全にロックすると、確認穴が青くなります。



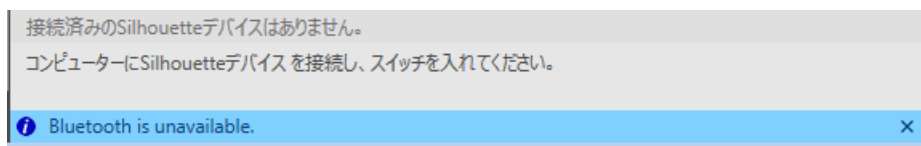
⑫テストカットで問題が無ければ、再度メディアをセットし直して **送信** をクリックします。



⑬ “CAMEO 3 カット中” が表示され、Silhouette CAMEO がカットを開始します。



※ “CAMEO 3 Unavailable” や、“接続済みの Silhouette デバイスはありません。” の表示が出ている場合は、Silhouette CAMEO の接続を見直してください。

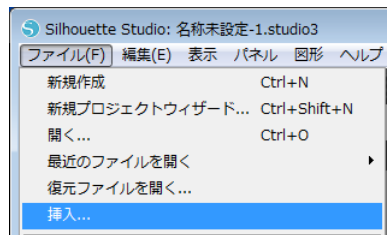


2. 画像データからアウトラインを抽出してロゴのカットを行いたい

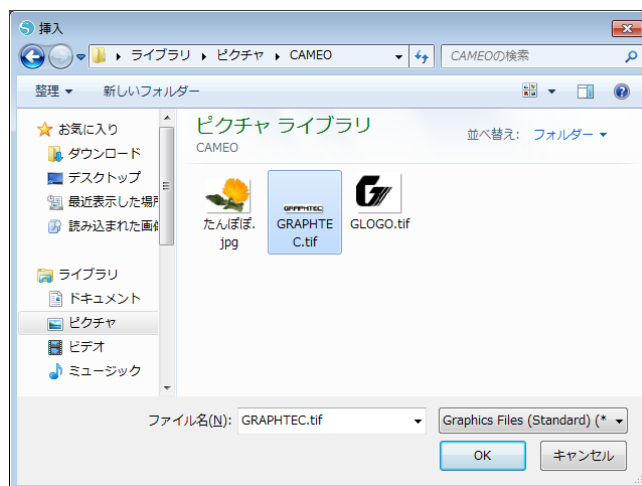
Silhouette Studio の設定は、前述「1. カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の①から④までの設定を行ってください。

以降の説明は、ロゴの画像データから自動的にアウトラインを抽出してロゴのカットを行う方法について説明します。

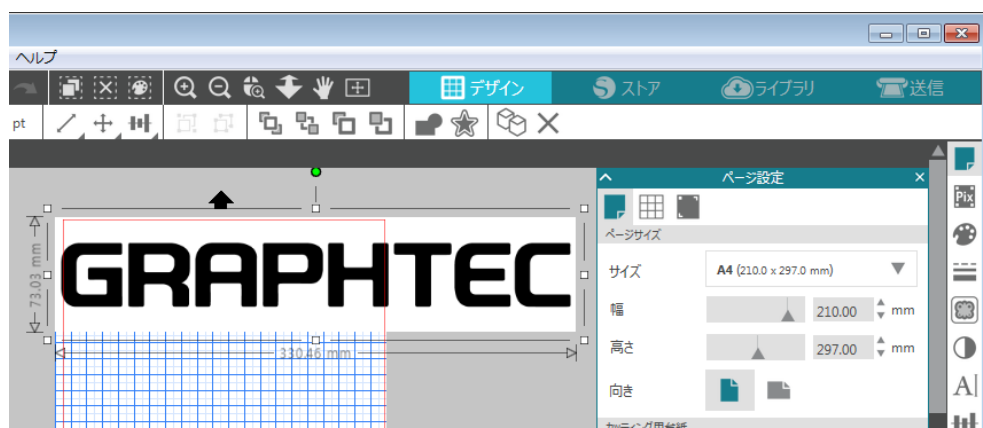
① ファイル (F)」から「挿入...」を選択します。




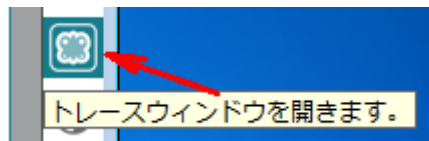
②ファイル名 (N)」の右にあるファイルの種類より“Graphics Files(Standard)”を選択の上、開きたい画像ファイルを選択し、[OK] をクリックします。




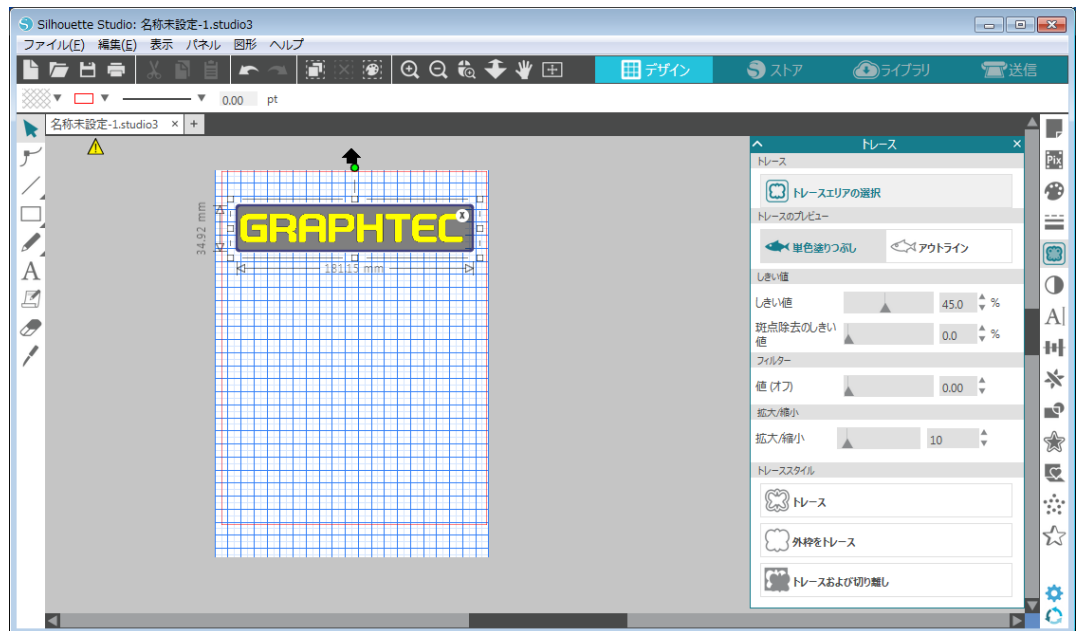
③画像のファイルが開きますが、画像サイズが大きい場合は、ワークスペースに収まるように画像データの角のコントロールポイントをクリックしてドラッグすることでサイズを調整できます。




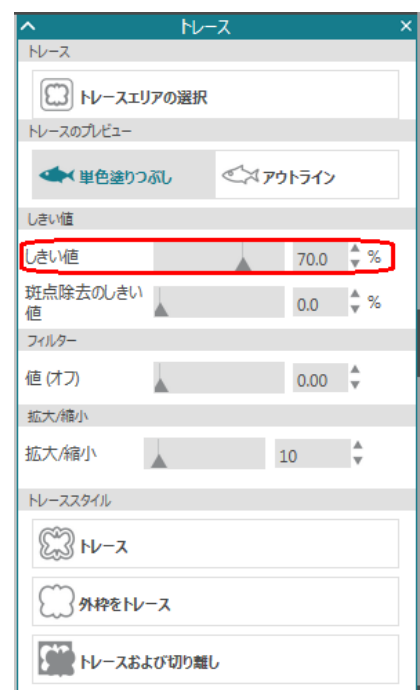
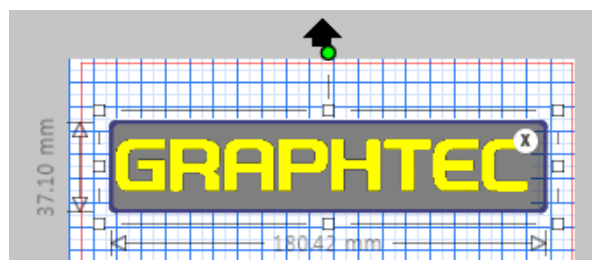
- ④ 「トレースウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックします。




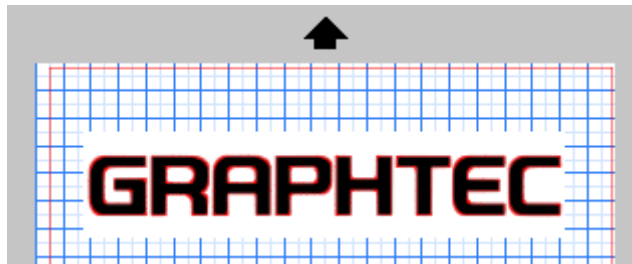
- ⑤  をクリックし、画像データ全体をドラッグして選択状態にします。



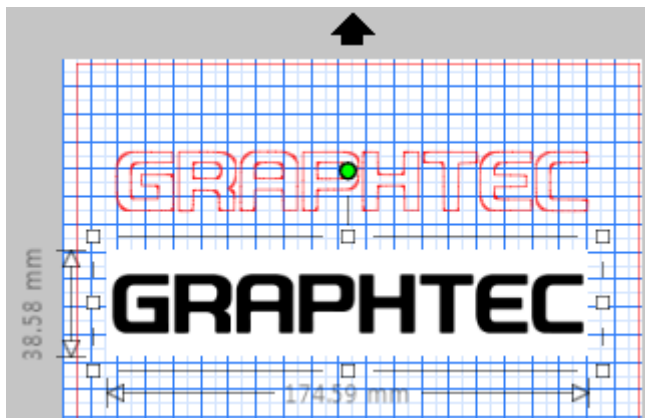
- ⑥ 「トレースのプレビュー」は、 を選択し、ロゴデータ全体が黄色になり、角が出るように、「しきい値」の値を調整します。この状態でトレースすることでロゴのアウトラインが作成されます。




- ⑦  をクリックするとロゴデータのアウトラインが作成されます。

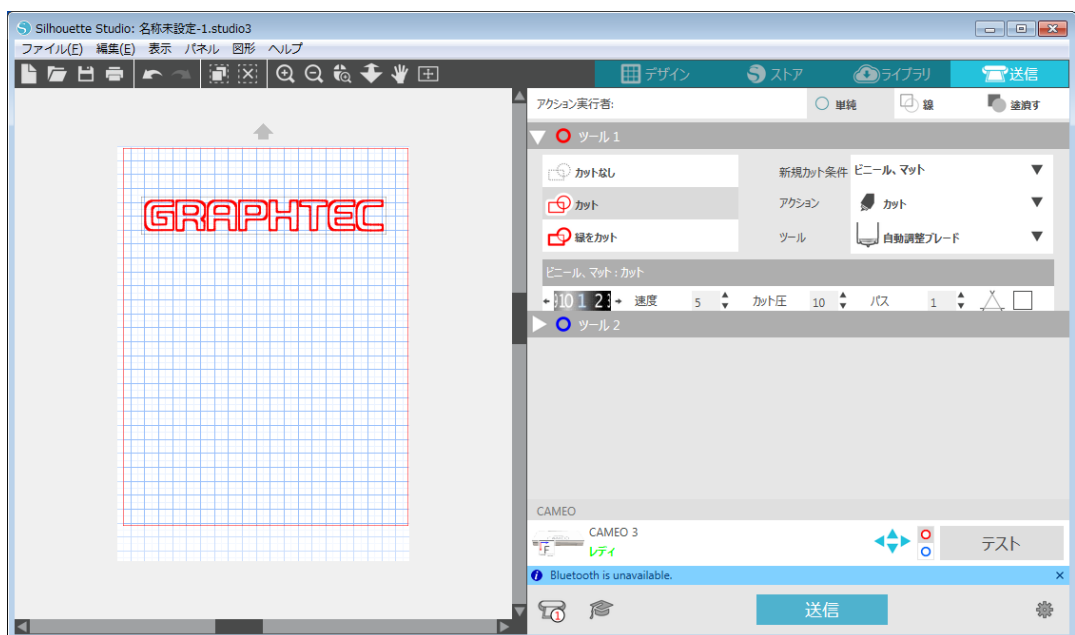


- ⑧ ロゴデータの上をクリックし、ドラッグすることで画像とアウトラインとが分離されますので、分離した後、画像データを削除します。



※画像データが残っていると、画像データ自体の四角の枠もカット対象になります。

- ⑨  タブをクリックしてカット条件設定画面を開きます。カットの方法は、前述「1. カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の⑨以降と同じになりますので参照してください。



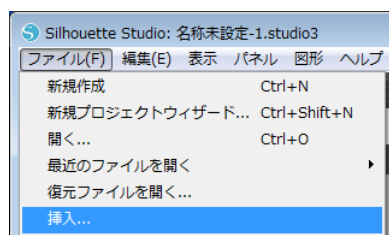
3. 画像データの印刷に合わせてシールをカットしたい

Silhouette Studio の設定は、前述「1. カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の①から④までの設定を行ってください。

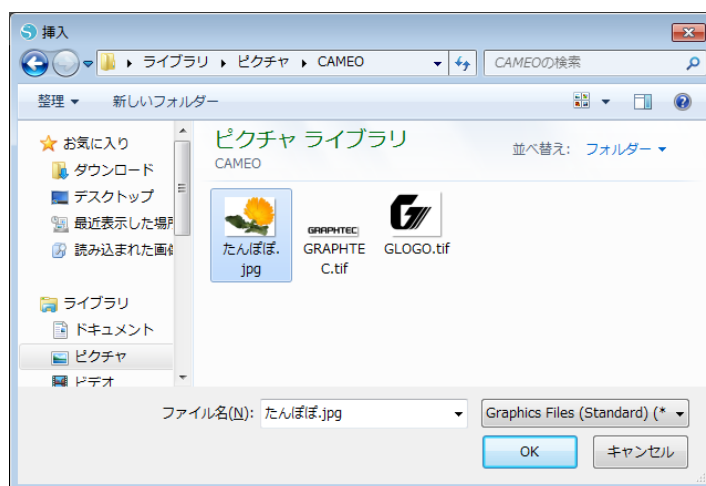
以降の説明は、画像データから自動的にアウトラインを作成し、位置あわせマーク（トンボ）を使って印刷された画像データの周りをカットする方法について説明します。

1) 画像データからカットデータを作成するまで

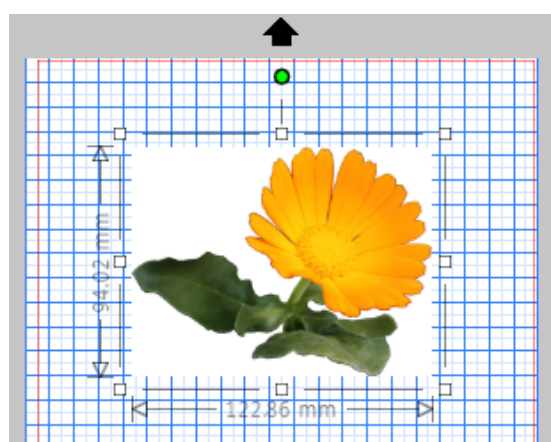
①「ファイル (F)」から「挿入...」を選択します。




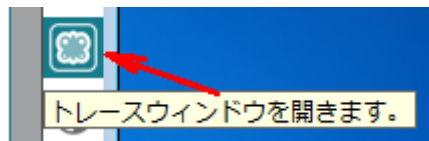
②ファイル名 (N)」の右にあるファイルの種類より“Graphics Files(Standard)”を選択の上、開きたい画像ファイルを選択し、[OK] をクリックします。




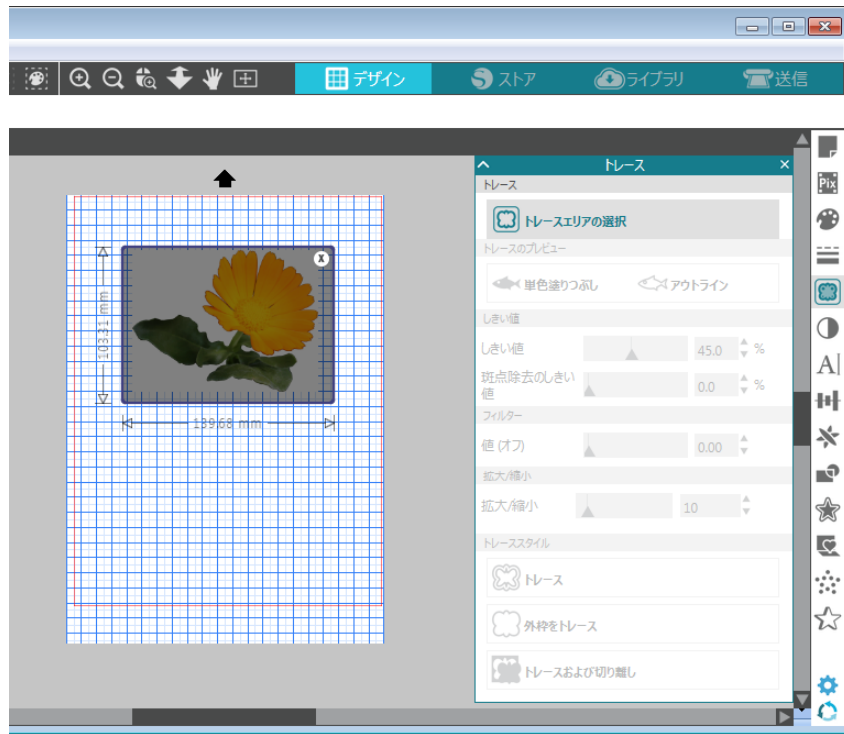
③画像のファイルが開きますが、画像サイズが大きい場合は、ワークスペースに収まるように画像データの角のコントロールポイントをクリックしてドラッグすることでサイズが調整できます。



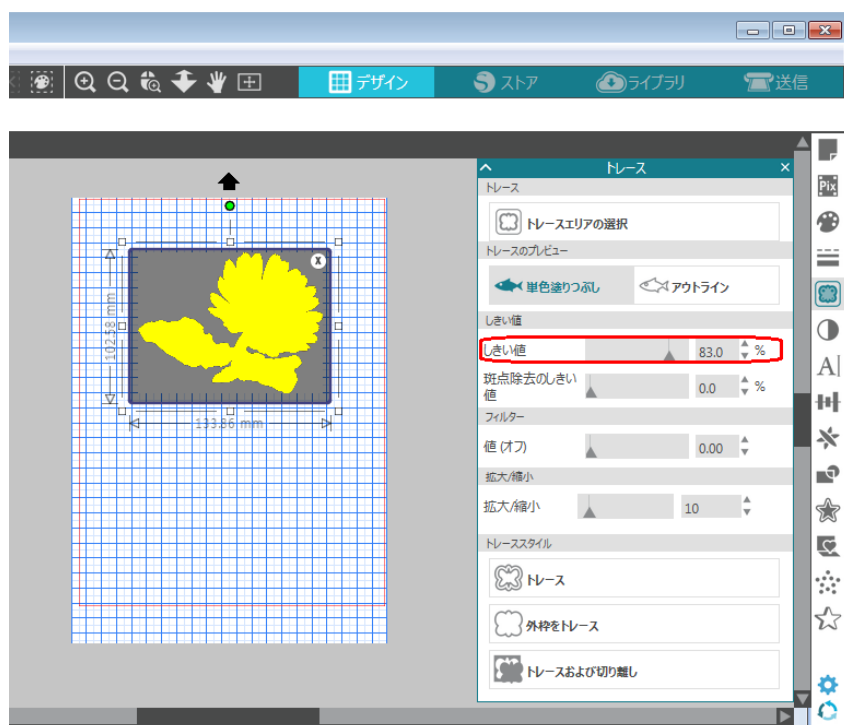
- ④ 「トレースウィンドウを開きます。」のアイコンをクリックします。




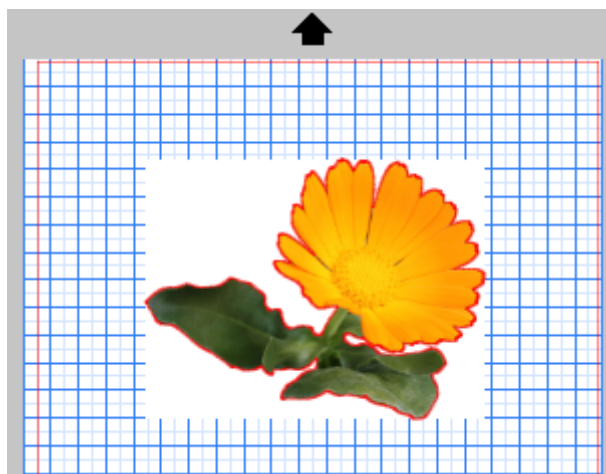
- ⑤  をクリックし、画像データ全体をドラッグして選択状態にします。



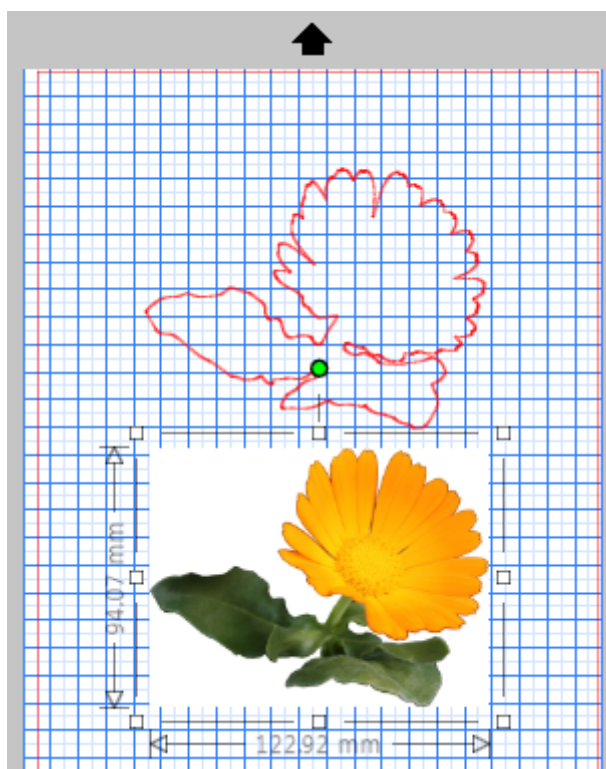
- ⑥ “しきい値”の値を上げていくと画像データの全体が黄色になります。この状態でトレースすることでアウトラインが作成されます。



- ⑦  をクリックすると画像データの外枠のアウトラインが作成されます。



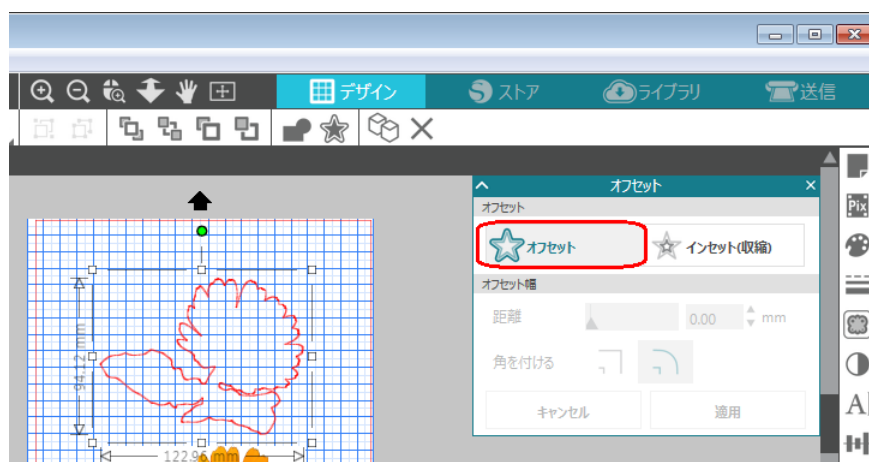
- ⑧ 画像データの上をクリックし、ドラッグすることで画像とアウトラインが分離されます。



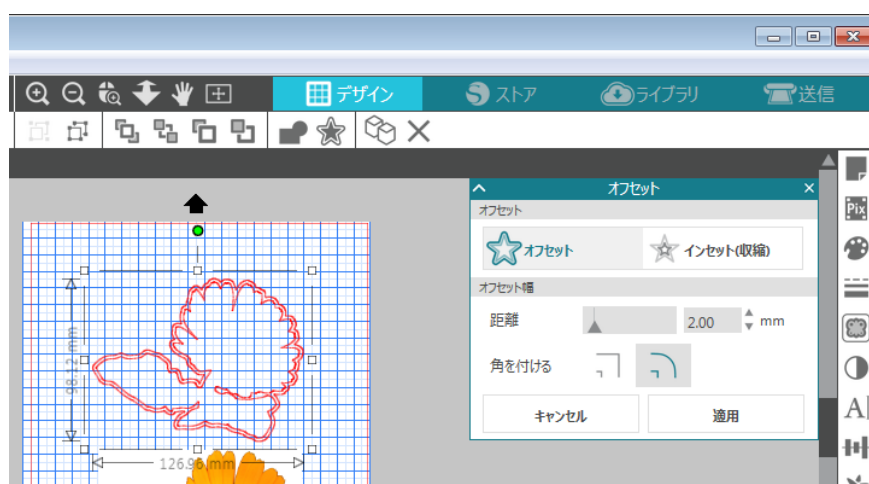
- ⑨ 「オフセット（膨張／収縮）ウィンドウを開きます。」のアイコン  をクリックします。



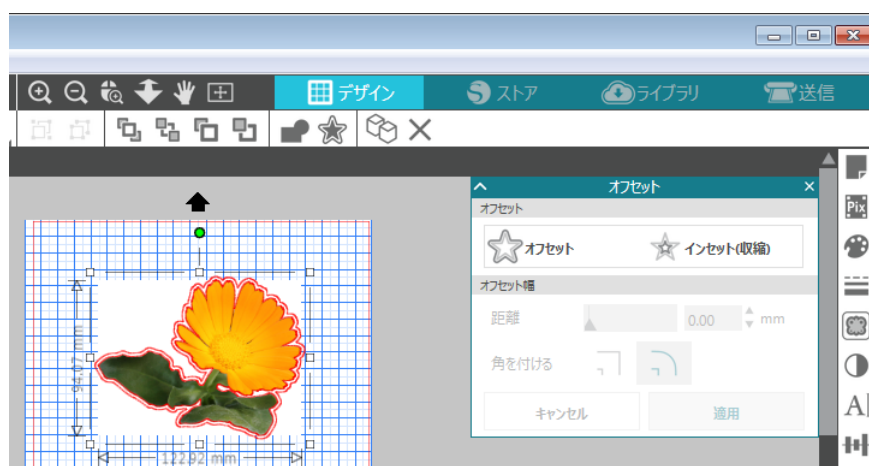
⑩アウトラインを選択し、 をクリックします。





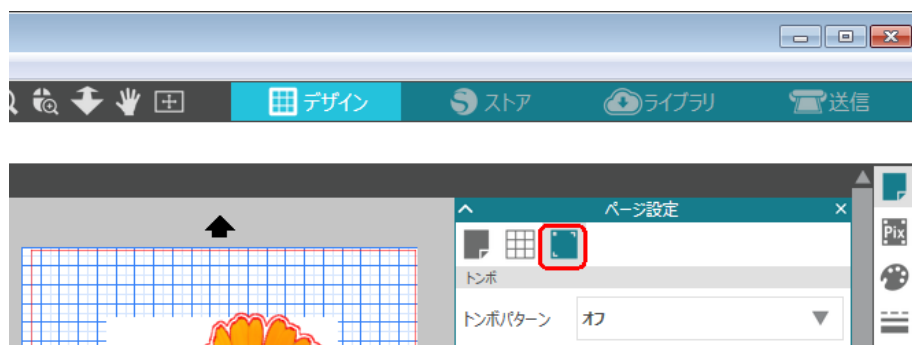
⑪「オフセット幅」の「距離」の値を入力することで、元のアウトラインから設定された値でオフセットされたアウトラインが表示されますので、この設定で良ければ [適用] をクリックします。




⑫画像データをクリックし、元のアウトラインの位置にドラッグして戻します。



- ⑬  タブをクリックし、「ページ設定」画面より、“ (トンボ)” を選択します。

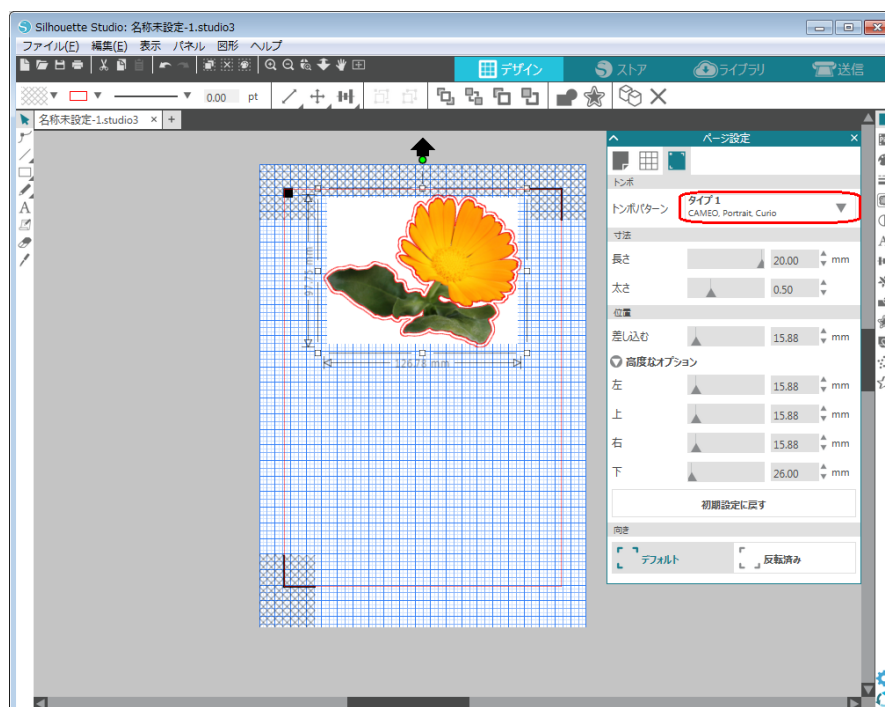



- ⑭ 「トンボ」の設定画面が開きますので、「トンボパターン」から “ ” を選択します。

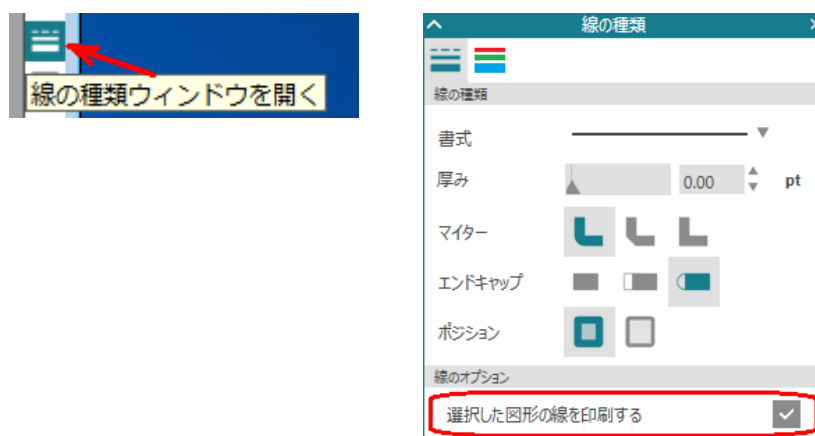
「寸法」の“長さ”は、左下、右上のトンボの一边の長さを示し、5mm～20mmまで設定ができます。太さは、トンボの線の幅を示し、0.3mm～1.00mmまで設定ができます。


「位置」の中の“差し込む”は、メディアの先端および、左右の端からトンボまでのマージンを設定します。最小は、10.00mmから設定でき、“高度なオプション”を開くと、左右、上下のマージンを個別に設定できます。

上記の値を小さな値にすると描画できる範囲は広く取れますが、トンボ検出でエラーが出やすくなる場合がありますので、なるべくデフォルトの設定での使用をお勧めします。



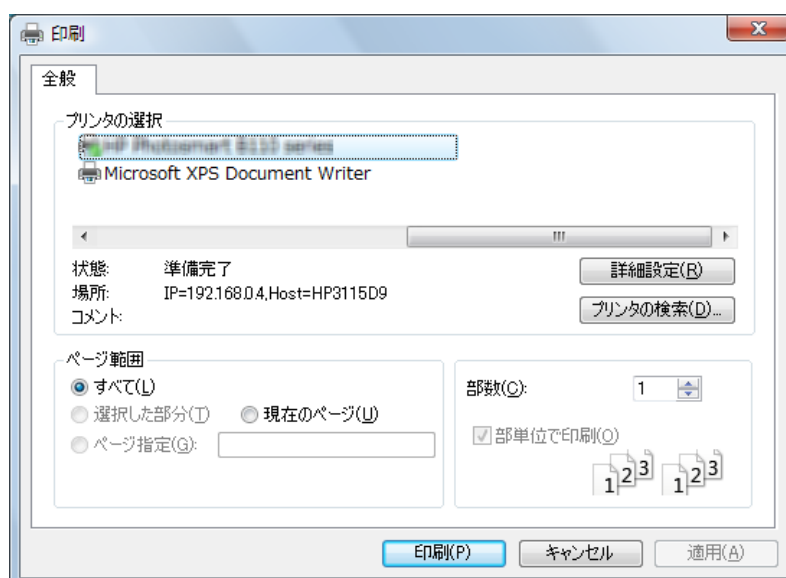
※このまま印刷するとカットラインは印刷されませんが、カットラインを印刷したい場合は「線の種類ウィンドウを開く」のアイコンをクリックし、印刷したい線を選択した上で「選択した図形の線を印刷する」にチェックします。



⑮この状態で「印刷」アイコンをクリックします。



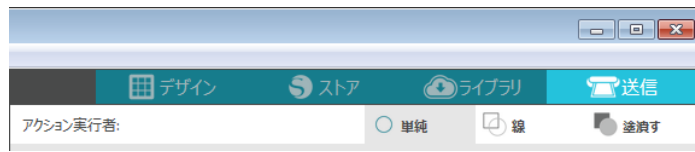
⑯「印刷」画面よりプリンタを選択し [詳細設定 (R)] をクリックしてプリンタの設定を行った後 [印刷 (P)] をクリックして作成した画像データをカットするメディアに印刷します。





※メディアに印刷されたトンボの位置が指定したマージンで印刷されていない場合や、縮小／拡大がされている場合は、トンボ読み取りエラーが発生することがありますので印刷設定を見直してください。



2) 印刷したシールのセットとカットまで

①  タブをクリックします。



② 画像データの全体をドラッグして選択状態にし、“ ”より“ ”を開きます。



③ 画像データの元のアウトラインがカット指定になっていますので、カットの必要が無い線を選択し、“ ”をクリックします。カットしたい線だけ“ ”をクリックして設定します。



④ 「新規カット条件」に“ビニール、マット”を選択します。

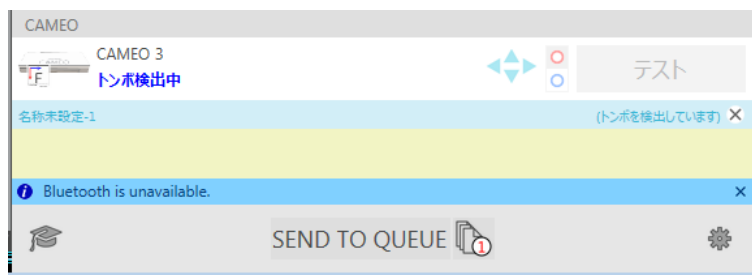
「アクション」は“カット”、「ツール」に“自動調整ブレード”を選択します。

その他の設定方法は、前述の「1. カッティングフィルムに文字切りを行いたい」の⑩以降と同じになりますので参照してください。

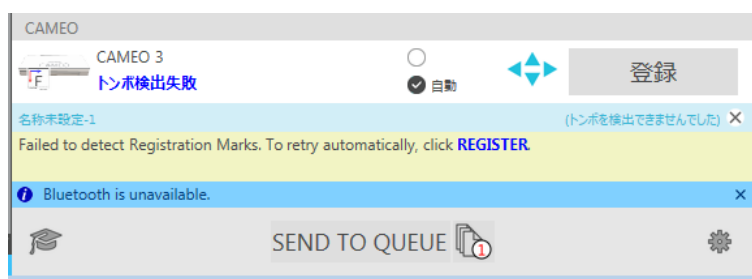
画面下に表示された“CAMEO 3”の上で右クリックするとトンボ読み取り方法の選択画面が表示されますので通常は、“自動トンボ検出”を選択してください。



- ⑤ Silhouette CAMEO 3 にプリント&カットするデータが印刷されたシールをセットし、**送信** を押すことで、“トンボ検出中” の表示が出て、自動的にトンボ読み取り動作を行います。正常にトンボ読み取りが完了すると“カット中” に表示が変わり、図形に合わせてカット動作を行います。



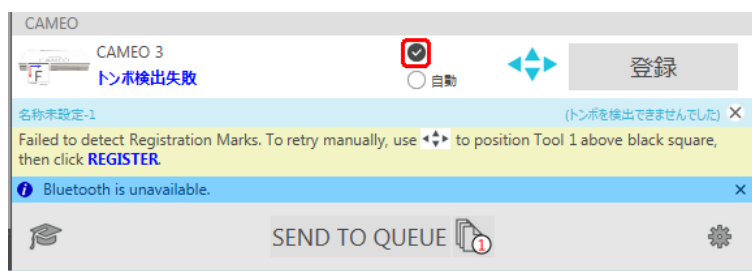
- ※読み取り順序は、左上の位置あわせマーク（トンボ）からスタートして、左下、右上の順に読み取ります。読み取りに失敗した場合は、“トンボ検出失敗” のメッセージが表示されます。再試行する場合は、メディアをセットし直して [登録] をクリックします。それでも読み取りに失敗する場合は、後述する“手動トンボ検出”を試してみてください。



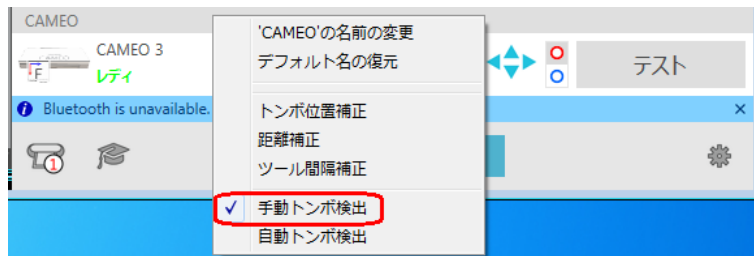
※読み取りに失敗する原因として考えられること






- ・メディアのセット位置が違う。(メディアの左端がガイドラインに合っているか確認)
- ・位置あわせマークの印刷とセット方向が間違っている。
(Silhouette Studio 画面の位置あわせマークの四角と印刷物の四角の位置を確認)
- ・メディアへの印刷時に拡大または縮小して印刷した。(等倍で印刷する)
- ・左右のメディア押さえのパネのセット位置が違う。(左右のトンボが印刷されている付近にメディア押さえのパネをセットする)

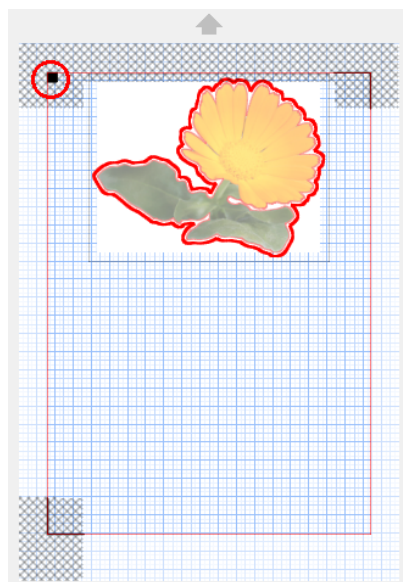
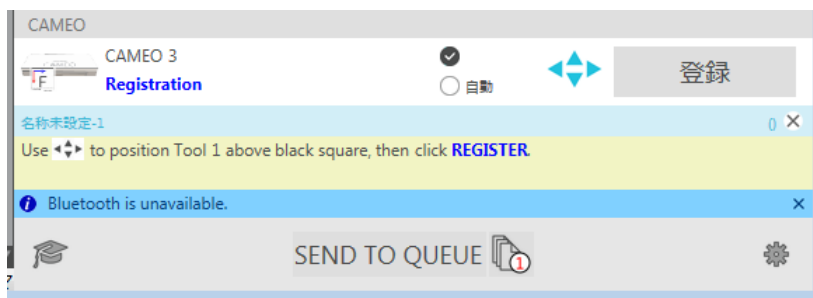
- ⑥ “自動トンボ検出” の選択で読み取りが正常にできない場合は、“手動トンボ検出” を選択してトンボを手動で検索するようにします。下記表示画面の上側の丸をチェックすると“手動トンボ検出” の設定になります。



送信する前なら「CAMEO 3」の上で右クリックし、“手動トンボ検出”を選択することで最初から“手動トンボ検出”の設定になります。



- ⑦ “手動トンボ検出”を選択すると下記画面が表示され、 のボタンをクリックすることで、Silhouette CAMEO 3 のカッタープランジヤとメディアの位置を移動することができます。 のボタンをクリックするとカッタープランジヤが左側に、 のボタンをクリックするとカッタープランジヤが右側に動きます。 のボタンをクリックするとメディアが前方に、 のボタンをクリックするとメディアが後方に動きます。カッタープランジヤの先端の位置を左上の位置あわせマーク（図の赤丸印）に合わせます。



- ⑧位置が合ったら [登録] をクリックすることでトンボの読み取りが開始され、成功すれば自動的にカットが始まり、印刷された画像データに合わせたカットが行われます。

以上